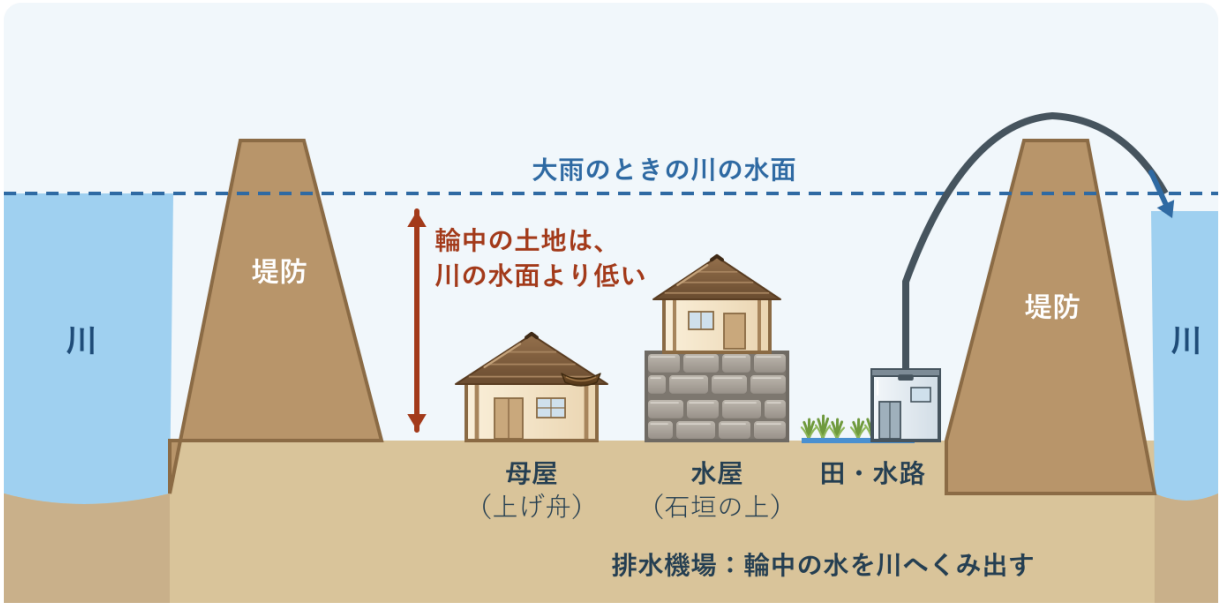
低い土地のくらし

川より低い土地で、人々はどのように水害を防ぎ、くらしてきたか

輪中の断面（模式）



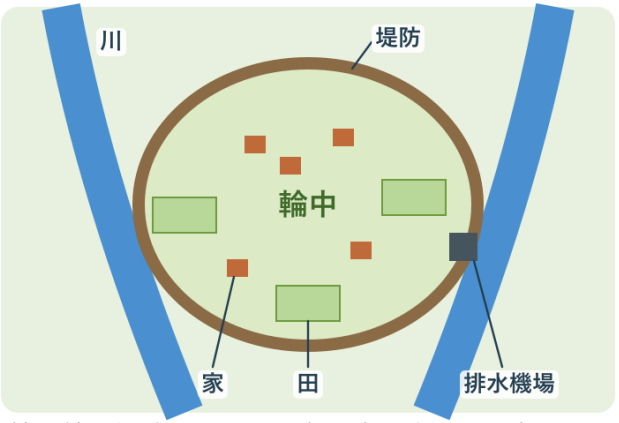
人々は、まわりを堤防で囲み（輪中）、水害を防いできた。

水屋：大水のときのために、食料や家具を入れ、避難もできるようにした建物。

上げ舟：大水のときに使えるよう、軒下につるしておいた舟。

（断面の高さや大きさは、説明のための模式）

上から見た輪中（模式）



輪の線＝堤防、小さい四角＝家、大きい四角＝田、外側の帯＝川、黒い四角＝排水機場

水害を防ぐ工夫

- 集落と田を堤防で囲む
- 石垣の上の水屋、上げ舟
- 排水機場で水をくみ出す
- 川の流れを分ける工事

水を生かす

- 豊かな水で米づくり

※ 例：木曽川・長良川・揖斐川の下流（岐阜県など）の輪中。図は特定の場所ではない模式。